

研究課題名	大動脈瘤患者における血清尿酸値の上昇とびまん性冠動脈拡張症との関係、および予後に関する研究
研究期間	実施許可日 倫理委員会承認後 ～ 2027年 3月 31日
研究の対象	2011年1月から2013年10月までに広島大学病院循環器内科で冠動脈造影を施行した成人患者さん。ただし本人から拒否の申し出のなかった患者さんに限定します。
研究の目的・方法	<p>研究目的：大動脈瘤は特に高齢者において重要な心血管疾患であり、その破裂は非常に高い死亡率を伴う致命的イベントです。大動脈瘤患者の罹患率や死亡率の重要な原因として冠動脈疾患が挙げられます。大動脈瘤患者はびまん性冠動脈拡張症と関連することが知られていますが、その程度などは不明瞭であります。一方で、血清尿酸値高値は、心血管疾患発症の重要な危険因子といわれていますが、血管造影上の特徴は完全には理解されていません。また、大動脈瘤患者における血清尿酸値の関係についてはほとんど研究されていません。本研究は、大動脈瘤患者における血清尿酸値の関係とびまん性冠動脈拡張症との関係を詳細に検討することを目的としました。また、予後についても検討することで、大動脈瘤患者やびまん性冠動脈拡張症患者に対する適切なリスク管理や介入の必要性を明らかにすることが期待できる可能性があります。</p> <p>研究の方法：本研究は診療録（カルテ）情報を転記します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、予後情報、既往歴、生活歴、家族歴、内服内容、血液検査結果、画像検査結果等</p> <p>試料：使用しません</p> <p>試料・情報の管理責任者： 広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学 教授 中野由紀子</p>
利用または提供を開始する予定日	実施許可日（2025年3月10日）以降
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学 教授 中野 由紀子</p>
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による

不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 広島大学病院循環器内科

担当者：

助教 池永 寛樹

教授 中野 由紀子

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-1564